

順位	動き	昨年	温泉	地	県
1	—	1	草津	群馬	馬
2	↑	3	下呂	岐阜	阜
3	↓	2	別府八湯	大分	分
4	↑	6	道後	愛媛	媛
5	↑	7	箱根	神奈川	川
6	↑	9	登別	北海道	道
7	↓	4	有馬	兵庫	庫
8	↓	5	指宿	鹿児島	島
9	↑	10	由布院	大分	分
10	↑	12	和倉	石川	川
11	↓	8	城崎	兵庫	庫
12	↓	11	黒川	熊本	本
13	↑	18	銀山	山形	形
14	—	14	乳頭温泉郷	秋田	田
15	↓	13	伊香保	群馬	馬
16	↑	17	玉造	島根	根
17	↑	20	鬼怒川・川治	栃木	木
18	↑	19	奥飛騨温泉郷	岐阜	阜
19	↓	16	月岡	新潟	潟
20	↓	15	熱海	静岡	岡
21	↑	25	鳴子	宮城	城
22	↑	35	十勝川	北海道	道
23	↑	37	霧島	鹿児島	島
24	↑	38	湯の川	北海道	道
25	↓	23	嬉野	佐賀	賀
26	↑	28	飛騨高山	岐阜	阜
27	↑	29	万座	群馬	馬
28	↑	53	長良川	岐阜	阜
29	↓	22	山中	石川	川
30	↓	26	蔵王	山形	形
31	↓	24	白骨	長野	野
32	↓	27	山代	石川	川
33	↑	34	白浜	和歌山	山
34	↑	44	花巻温泉郷	岩手	手
35	↓	21	秋保	宮城	城
36	↓	32	昼神	長野	野
37	↓	33	修善寺	静岡	岡
38	↑	41	雲仙	長崎	崎
39	↑	46	定山渓	北海道	道
40	↓	31	あわら	福井	井
41	↓	36	三朝	鳥取	取
42	↑	43	酸ヶ湯	青森	森
43	↑	49	層雲峡	北海道	道
	↓	40	万戸	群馬	馬
45	↓	30	湯田中渋温泉郷	長野	野
46	↑	48	観音	静岡	岡
47	↓	39	宇奈月	富山	山
48	↑	54	洞爺湖	北海道	道
49	↑	56	稲取	静岡	岡
50	↑	55	塩原	栃木	木

順位	動き	昨年	温泉	地	県
51	↓	47	みなかみ18湯	群馬	馬
52	↓	42	阿寒湖	北海道	道
53	↑	62	ウトロ	北海道	道
	↓	45	高湯	福島	島
55	↓	51	長門湯本	山口	口
56	↑	64	母畑	福島	島
	↓	50	野沢	長野	野
58	↑	59	那須	栃木	木
	↑	69	川湯	北海道	道
59	↓	57	玉川	秋田	田
	↑	65	湯西川	栃木	木
62	↓	58	皆生	鳥取	取
63	—	63	黄金崎不老ふ死	青森	森
64	↑	88	山鹿・平山	熊本	本
65	↑	91	あつみ	山形	形
66	—	66	石和	山梨	梨
	↑	76	瀬波	新潟	潟
68	↑	75	湯村	兵庫	庫
69	↑	—	原鶴	福岡	岡
	↑	—	平磯	北海道	道
70	↑	80	湯河原	神奈川	川
	↓	52	伊東	静岡	岡
73	↓	61	東山	福島	島
	↓	67	河口湖	山梨	梨
75	↑	—	大雪高原	北海道	道
76	↑	96	祖谷	徳島	島
77	↑	79	かみのやま	山形	形
	↑	87	浜名湖かんざんじ	静岡	岡
79	↑	84	上諏訪	長野	野
	↓	72	おごと	滋賀	賀
81	↓	77	洲本	兵庫	庫
82	↓	78	別所	長野	野
83	↓	70	越後湯沢	新潟	潟
	↑	—	愛山溪	北海道	道
	↑	—	扉	長野	野
84	↓	60	こんぴら	香川	川
	↑	97	阿蘇温泉郷	熊本	本
88	↑	—	白金	北海道	道
89	↑	—	ニセコ温泉郷	北海道	道
	↑	97	湯野浜	山形	形
91	↑	—	脇田	福岡	岡
	↑	—	つなぎ	岩手	手
92	↓	74	日光湯元	栃木	木
	↓	81	下田	静岡	岡
95	↓	85	長島	三重	重
	↓	82	長湯	大分	分
97	↓	92	磐梯熱海	福島	島
98	↑	—	西山	山梨	梨
	↓	83	芦ノ牧	福島	島
99	↓	73	南紀勝浦	和歌山	山

週刊
観光経済新聞

宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

第2部

第35回記念特集号

第1弾

旅行会社、OTAが選んだ

第35回につぼんの温泉100選

観光経済新聞社が主催する「につぼんの温泉100選」は、旅行のプロである旅行会社の投票で決まる温泉地ランキング。消費者に支持されているその年の人気温泉地を探るとともに、温泉地ランキングに刺激を受けた各温泉地が競合し温泉地の活性化につなげることを目的に毎年実施。35回目を迎えました。今回から観光関連8団体と観光庁に加えて、環境省も後援となり、正に「観光業界が認める人気温泉地ランキング」なのです。

選は、旅行会社やOTA、投票方法は毎年、JTBなどの投票によって人気BやKNT-CTホールなどの温泉地を探るという目ディンクス、日本旅行的に加え、全国各地の温泉東武トップツアーなど温泉地が上位を目指して競う旅行会社と、じゃらん、い合い、地域の魅力づくnetと楽天トラベルといったOTAに投票はがきを配布し、投票を呼び、前回の投票期間は7月1日から10月まで、より大きく投票数が減少したと見られる。昨年初めてWEB投票も開始。その結果、有効選は、「旅行のプロが選ぶ人気温泉地」ということが加え、観光業界が認めた温泉ランキングであるのも大きな特徴だ。後援に観光庁、環境省と日本旅館協会、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、日本温泉協会、日本旅行業協会、全国旅行業協会、日本観光振興協会、日本政府観光局、公益財団法人日本交通公社の観光業界8団体が名を連ねているからだ。また、この8団体の代表者がにつぼんの温泉100選実行委員会のメンバーとなり、厳格な審査を行っている。

第35回につぼんの温泉100選での審査会の様子

観光業界が認める ランキングです

本社主催 につぼんの温泉100選

観光経済新聞社が主催する「につぼんの温泉100選」は、旅行のプロである旅行会社の投票で決まる温泉地ランキング。消費者に支持されているその年の人気温泉地を探るとともに、温泉地ランキングに刺激を受けた各温泉地が競合し温泉地の活性化につなげることを目的に毎年実施。35回目を迎えました。今回から観光関連8団体と観光庁に加えて、環境省も後援となり、正に「観光業界が認める人気温泉地ランキング」なのです。

後援

観光庁 | 環境省 | 日本旅館協会 | 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 | 日本温泉協会 | 日本旅行業協会 | 全国旅行業協会 | 日本観光振興協会 | 日本政府観光局 | 公益財団法人日本交通公社